

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築（簡易版）2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

## 1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	下越病院 秋葉区 無指定 病院, 2012年3月 予定 36,083.95 m <sup>2</sup> 5,446.89 m <sup>2</sup> 17,223.73 m <sup>2</sup> 地上6F S造 実施設計段階評価 2010年8月20日	
---	--	--

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{63}{33} = 1.8$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★ B: ★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.3		バリアフリー	3.0
			維持管理	4.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.5		耐震・免震	3.4
			信頼性	3.6
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物の熱負荷抑制	5.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	4.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.5		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮・快適性の向上	4.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

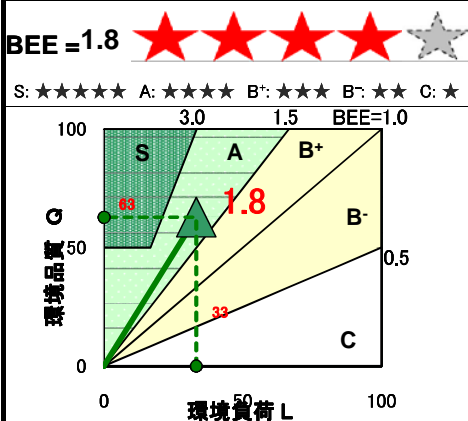
災害拠点病院としての機能を確保するために免震構造を採用しています。  
 人工透析洗浄水の中水利用と、節水型便器の採用により節水を行っています。  
 敷地内を積極的に緑化しています。

# CASBEE®新潟

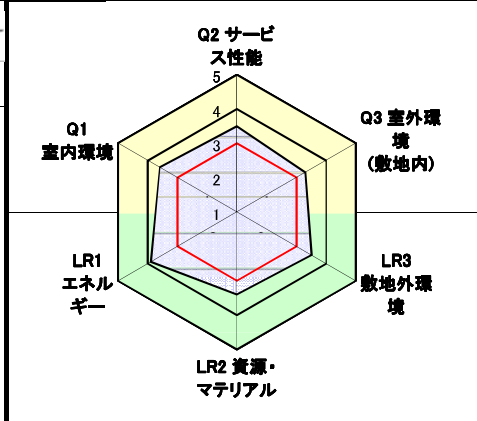
# 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

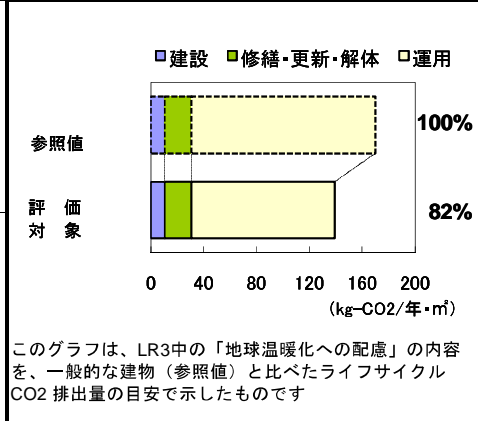
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



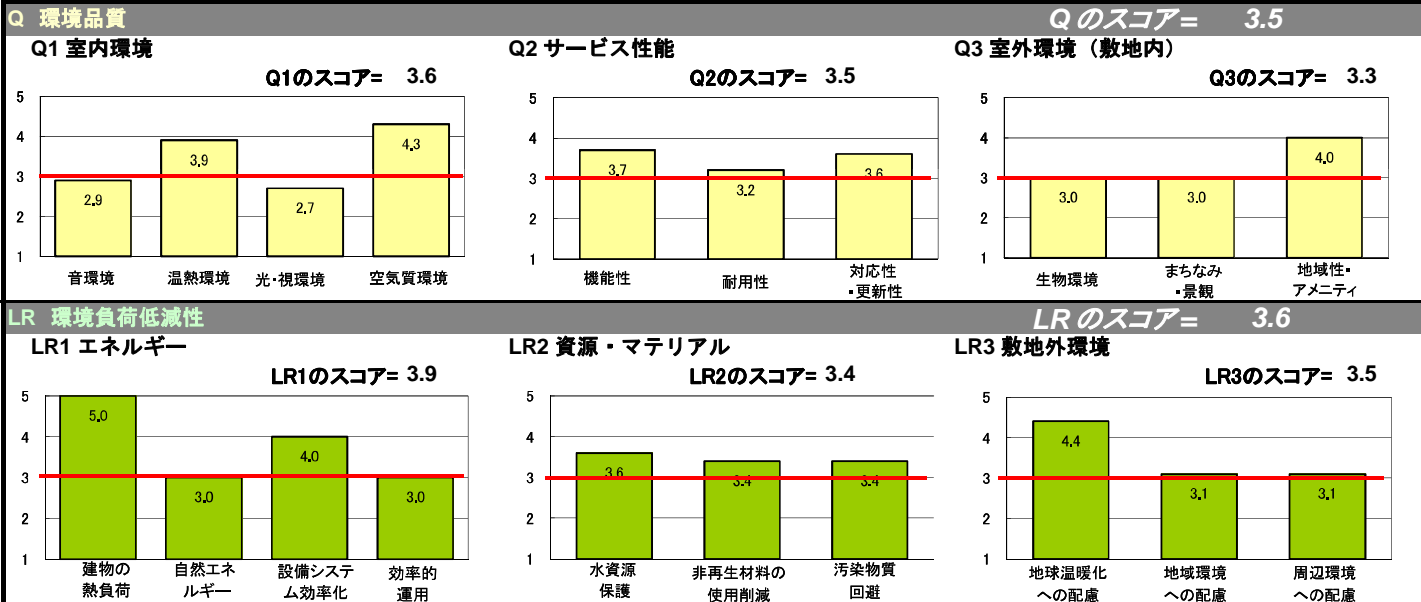
## 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 2-5 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 『やさしい病院』を基本理念とし、人(患者・職員)だけでなく環境にもやさしい施設づくりを目指しています。	<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b> 病棟の空調方式に、湿度制御を行う液式調湿換気システムを採用し、通年湿度50%の室内空調環境を維持することができます。	<b>Q2 サービス性能</b> 病院の特異性を考慮し、適材適所で維持管理に配慮した仕上材を採用しています。 構造は免震構造を採用しています。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 広い敷地の中央に建物を配置し、建物周囲のゾーニングを明確にしています。 敷地全体を積極的に緑化しています。	<b>LR1 エネルギー</b> ガスマイクロジェネレーションを計画し、25KWの発電と、合わせて発生する温水を給湯に補填するシステムを採用しています。
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 人工透析用の洗浄水を中水として再利用しています。	<b>LR3 敷地外環境</b> 職員駐車場も含めて十分な駐車台数の確保しています。 路線バスの敷地乗り入れを予定しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される